

関係のみなさま

2011年 4 月 24 日

2011年度 兵庫県学童保育連絡協会総会のご案内

兵庫県学童保育連絡協議会
会 長 平 野 良 徳

4月も末ともなりますが、寒さの残る今日この頃です。日頃からの学童保育運動に関わりいただき、敬意を表します

働きながら子育てする家庭にとって、保育所と同じように必要な施設である学童保育（放課後児童クラブ）は、近年、入所（利用）児童数が激増しています。全国 1 万9477か所の学童保育に80万4309人の子どもたちが入所しており、施設数・入所児童数ともに増え続けていることが明らかになっています。共働きが一般的になりつつあることや、地域で子どもが被害に遭う事件の発生の影響もあり、学童保育への入所児童が増加していますが、まだまだ不足しています。施設数の増加が利用児童数の増加に追いつかず、待機児童が増え、大規模化が進行していることも大きな問題です。

兵庫県の学童保育も、29市12町で796ヶ所（2010年5月）と増えてきていますが、伸びは鈍っており、大規模化（国が解消をめざし予算的にも進めたにもかかわらず）71人以上の学童保育所は県内で67ヶ所も残っています。

こうしたなかで政府は、「子ども・子育てビジョン」を発表し、学童保育の利用児童数を5年間で30万人増やすこと、「放課後児童クラブガイドライン」を踏まえて質の向上を図るという目標を策定しました。また現在、「子ども・子育て新システム検討会議」で、「幼保一体化を含む新たな次世代育成支援のための包括的・一元的なシステムの構築」の検討をおこなっており、学童保育制度のあり方についても検討しています。

今年の総会では、現在の民主党政府がすすめる「子ども・子育て」政策の方向性についての情勢認識や、国や兵庫県に対する私たちの運動課題を互いに確認し、運動方針を確定します。また、「日本の学童ほいく」誌の普及拡大（7月号を県連で購入し拡大につなげる 各連協の拡大計画と必要部数の数を当日集約）、兵庫県学童保育研究集会の開催要項の議論、県連協分担金の金額確認、組織強化と財政課題、「日本の学童ほいく」読み合わせ（4月号を持参ください）もします。

様々な課題を議論します。万障繰り合わせのうえ、ご参加くださるようご案内します。

記

日時 4月29日（金） 10時から16時

場所 〒650-0022 神戸市中央区元町通6丁目7-9秋毎ビル

2階 会議室 078-360-2728

午前 事務局から情勢・活動報告、

午後 各地の報告・交流、協議事項の議論

以上